

# 日野原賞最終審査基準

2019年9月10日作成

## 【評価項目】

1. 倫理的配慮が適切にされているか（「問題はない」、「問題がある」の2択）
2. 研究方法の科学性は担保されているか（各下位項目3点×3=9点）  
量的研究、質的研究、それらの混合研究のいずれにあたるかを判断の上、ア～ウの下位項目についてそれぞれ3点満点で評価してください。
  - ① 量的研究：ア. 疑問が適切に構造化されているか  
イ. 測定方法は適切か  
ウ. 交絡・バイアスの対処は適切か
  - ② 質的研究：ア. 研究で取り扱う事象に関する着眼点・認識論・理論が一貫しているか  
イ. 研究者の立場性を明記し、研究目的に合致した妥当な方法（インタビュー、エスノグラフィーなど）が選択されているか  
ウ. データ収集における研究者の影響を踏まえても、信憑性の高いデータが収集できたと判断できるか
  - ③ 混合研究：ア. 混合型研究の設定および混合型研究を用いる根拠が明確か  
イ. 量的データ収集と質的データ収集の方法がいずれも適切か  
ウ. 妥当性と転用可能性について十分に考察されているか
3. データの分析は適切に行われたか（各下位項目3点×2=6点）  
量的研究、質的研究、それらの混合研究のいずれにあたるかを判断の上、ア、イの下位項目についてそれぞれ3点満点で評価してください。
  - ① 量的研究：ア. 統計解析方法の選択は適切か  
イ. 解析結果の示し方は適切か
  - ② 質的研究：ア. データの解釈プロセスが示され、それが追跡可能であり、他の研究者が納得可能な形で記述されているか  
イ. データから導き出された結果が、研究の目的に合致し、その結果を支える証拠と説明に十分に説得力があるか
  - ③ 混合研究：ア. 量的データ分析と質的データ分析の方法、両者の統合の方法がいずれも適切か  
イ. 量的データと質的データを統合した解釈・メタ推論が提示されているか
4. 研究結果と結論に乖離はないか（5点）
5. 得られた結果はプライマリ・ケアにとって重要か（7点）
6. 発表は明快だったか。質疑応答は適切だったか（5点）

## 【審査評価基準】

・項目2,3（各下位項目3点）

- 3：基準を達成している
- 2：基準を達成している部分としていない部分がある
- 1：基準を達成していない

・項目4,6（各5点）

- 5：基準を充分達成している
- 4：基準をほぼ達成している
- 3：基準を達成している部分としていない部分がある
- 2：基準をあまり達成していない
- 1：基準を全く達成していない

# 日野原賞最終審査基準

2019年9月10日作成

- ・項目5（各7点）

7：基準を充分達成している

6：基準をほぼ達成している

5：基準をどちらかという達成している

4：基準を達成している部分としていない部分がある

3：基準をどちらかという達成していない

2：基準をあまり達成していない

1：基準を全く達成していない

以上